

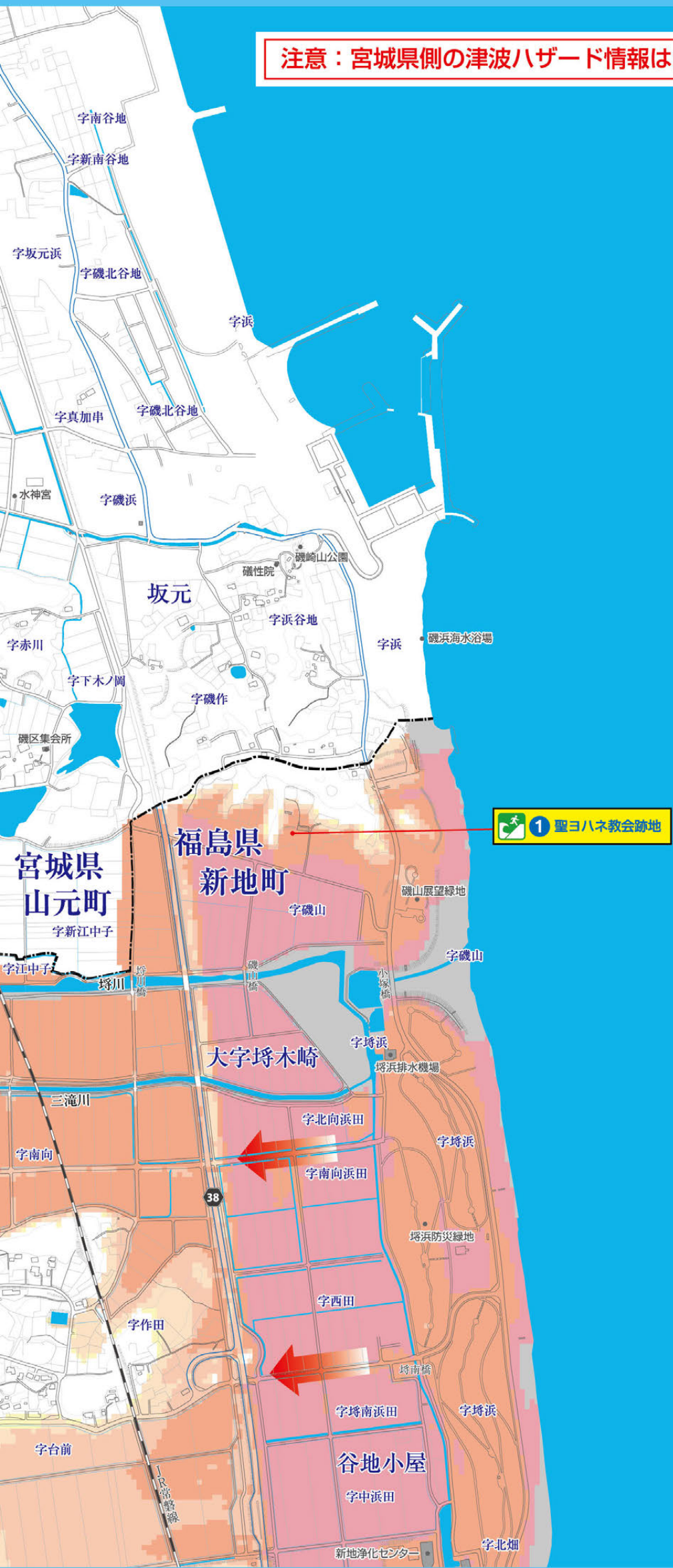
凡例(はんれい)	解説(かいせつ)
急傾斜地 特別警戒区域	きゅうけいしやち 【急傾斜地】
急傾斜地 警戒区域	しゃめん けいしや きゅう ぼしよ 斜面の傾斜が急な場所
土石流 特別警戒区域	どせきりゅう 【土石流】
土石流 警戒区域	さんぶく かわぞこ いし どしや ながあめ しゅうちゅうどうう 山腹や川底の石や土砂が、長雨や集中豪雨 かりゅう お などによって、いっきに下流へ押しながされるもの。

つなみしんすいしん 津波浸水深ランク色分け	
20m ~	
10m ~ 20m 未満	
5m ~ 10m 未満	
3m ~ 5m 未満	
0.5m ~ 3m 未満	
~0.5m 未満	

バッファゾーン
※浸水深の指定はありませんが、浸水の恐れがあるエリア

隣接詳細図(りんせつしょうさいず)	
詳細図 ①	詳細図 ②
詳細図 ③	詳細図 ④
詳細図 ⑤	詳細図 ⑥

注意：宮城県側の津波ハザード情報は公表されていないため掲載しておりません。



太平洋

津波浸水想定について

本防災マップで示す津波浸水区域は、津波防災地域づくりに関する法律に基づき福島県が設定公表したデータを利用しています。

津波浸水想定は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される、最大の浸水区域(浸水域)と水深(浸水深)を設定するものです。

最大クラスの津波は現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や、今後発生が想定される津波から設定しています。ただし、これより大きな津波が発生する場合があります。

本津波浸水想定では、津波による河川内の水位変化は着色しておりませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。

津波浸水想定は、平成23年東北地方太平洋沖地震の地盤変動を考慮した地形条件とし、平成31年3月末時点の復旧事業を反映しております。

構造物や地面の凹凸等の影響により、浸水域外でも浸水が発生したり、局所的に浸水深が大きくなる場所があります。

浸水想定の詳細な説明については、福島県で公表しております「津波浸水想定【解説】」をご覧ください。